

緊急開催
決定!!

第16回日本通所ケア研究大会 [東京・大阪地域大会]

生き残り続けるためのデイ・デイケアなどの

介護事業戦略

医療・介護同時改定への対応と介護業界が抱える問題への具体策

東京会場

2017年
日時 12月1日(金)・2日(土)・3日(日)
1日目: 10:00～18:00 2日目: 10:00～17:00 3日目: 10:00～15:00

会場 林野会館 (東京都文京区大塚 3-28-7)

参加費 [3日間] 25,000 円 (税・資料代込み)
[2日間] 20,000 円 (税・資料代込み)
[1日のみ] 15,000 円 (税・資料代込み)

その他 第16回日本通所ケア研究大会参加者・
参加法人は上記金額より 5,000 円割引

大阪会場

2017年
日時 12月8日(金)・9日(土)・10日(日)
1日目: 10:00～18:00 2日目: 10:00～17:00 3日目: 10:00～15:00

会場 OMM (大阪市中央区大手前 1-7-31)

参加費 [3日間] 25,000 円 (税・資料代込み)
[2日間] 20,000 円 (税・資料代込み)
[1日のみ] 15,000 円 (税・資料代込み)

その他 第16回日本通所ケア研究大会参加者・
参加法人は上記金額より 5,000 円割引

この研修で学べる改定後の動向・具体策を読み解くポイント

次回改定での介護報酬減は既定路線！法人の事業展開・舵取りを間違えない！

- ✓ 報酬単価の削減は現行制度の維持だけではなく将来を見据えた「社会システム」としての再構築
- ✓ 医療・介護サービスの価値を高めるためのアウトカム・機能別評価の推進
- ✓ 自立支援・重度化防止に向けた取り組み、成果を評価する指標の導入でインセンティブ改革
- ✓ 地域包括ケアシステムの強化・深化・推進 (小規模多機能、看護小規模多機能、訪問看護の推進と新型多機能の創設)
- ✓ 「我が事・丸ごと」の地域づくりの強化に向けた取り組み
- ✓ 地域に不足する資源を汲み上げ新たな社会資源の創出
- ✓ 介護・医療・保健ニーズの「増加」と「多様化」
- ✓ 地域共生社会・多世代交流の場の実現に向けた地域との協働による包括的支援体制
- ✓ 多様なキャリアパス構築などを通じた人材の有効活用の視点
- ✓ 働き方改革に伴う介護労働者の労働条件の確保と改善

次回改定は2025、35年を見越した新しい介護・医療改革元年！

地域大会のプログラムは中面またはホームページをご覧ください

詳細は

通所ケア地域大会

検索

東京会場

1日目

10:00	特別講演① 医療・介護改革の動向と施策展開 ～我が事・丸ごとの地域づくりにおけるデイの役割～ 現在調整中 今後20年間の大きな人口変化による保健医療ニーズの増加・多様化が予想される中、制度改革・報酬改定の度に単なる負担増・給付削減による現行制度の維持ではなく、介護事業所が社会システムの資源としてあるべき姿について考える	セミナー① 小規模多機能・看護小規模多機能への参入と黒字運営 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌 氏 ・小規模多機能・看護小規模多機能の正しい理解と運営管理 ・2018年介護報酬改定のゆくりと小規模多機能・看護小規模多機能の将来 ・小規模多機能・看護小規模多機能の収支研究 ・小規模多機能・看護小規模多機能の利用者確保の困難性を打開する営業戦略 ・小規模多機能・看護小規模多機能の成功・失敗10の要因
-------	---	---



休憩

13:15	特別講演② 通所リハ・通所介護の機能分化と勝ち残り戦略 株式会社Work Shift 代表取締役 高木 綾一 氏 ・通所介護と通所リハビリの役割分担 ・退院後のリハビリテーションの受け皿の重要性 ・通所リハはよりリハビリ機能を重視した役割 ・通所介護はリハビリ・認知症・中重度者対応という多様な役割 ・改正ごとに経営状態が悪化しないマーケティング戦略と人材育成	セミナー② 無名の施設から人が集まる施設になったワケ ～地域資源の組み合わせと巻き込み力で最強の介護施設へ～ コミュニティホーム長者の森 取締役 石原 孝之 氏 ・最強の地域コミュニティビジネスの生み出し方 ・施設の認知度を高めた、地域の拠点になる ・自施設の強みを生かす!地域のシニア世代が活躍する環境づくり ・シャッター外小売店との地域おこし ・潜在顧客を増やす	セミナー③ 生き残るサービス付き高齢者住宅になるために ～併設事業所の効果的な運営と満室継続のための工夫～ 高齢者サポートネットワーク CSねっと企画合同会社 代表 長嶺 堅二郎 氏 ・高齢者住宅市場の認識と入居促進の事前準備としてやるべきこと ・顧客満足度向上の仕組み作り(ホームQ&Aの作り方 ほか) ・居心地度を細部にわたってチェックする仕組み作り ・職員のモチベーションアップと差別化を図る為の特徴作り ・他ホームとの違いが見せられるプレゼンの仕方、見学時の魅せ方 ほか
-------	--	--	--

休憩

15:15	特別講演③ 総量規制で今後最大の課題は人材! 職員の確保・定着・育成 総合介護施設ありがとう 総施設長 妹尾 弘幸 氏 ・離職率5%以下(5年以上継続) ・正職率約75%、そのうち90%以上が全国レベルの学会発表経験者 ・昨年度新人職員60名超等の総合施設ありがとうのスタッフマネジメント紹介	セミナー④ 介護事業所と新総合事業・介護予防事業との連携の工夫 株式会社くまもと健康支援研究所 代表 松尾 洋 氏 ・将来人口推計から見た総合事業の考え方 ・要支援高齢者の自立支援における課題 ・循環型介護予防工コシステム ・介護保険者の視点で見た介護事業所における総合事業との連携	セミナー⑤ 今求められる介護サービス運営の秘訣! 訪問看護への参入と黒字運営 株式会社ワッディ 代表取締役 訪問看護ステーションはーと・所長 木戸 恵子 氏 ・地域、患者のニーズに応えられる訪問看護ステーション ・住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らせる街づくり ・事業所の運営状況とニーズに応じた展開 ・運営成功のカギは「人にあり」 ・ホームホスピスや町の保健室など訪問看護の可能性
-------	--	--	---

休憩

2日目

10:00	特別講演④ 介護保険制度・介護報酬改定の影響と対策 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 社会政策部共生社会室主任研究員 国府田 文則 氏 ・今後の介護保険制度改正の方向 ・次回以降の目標となっている「改革された介護保険制度」の姿 ・居宅系サービスの改革の要点 ・通所介護、通所リハビリなどの機能訓練・リハビリテーション系サービスをめぐる地域包括ケアシステムの構築	セミナー⑥ 新設される共生型サービス実践のポイント ～地域、自治体を巻き込んだ成功実践事例から探る～ 医療法人緑和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者 山下 総司 氏 ・企業、行政、福祉がお互い!に必要とする事を形にするための3つの仕組みとは ・キーワードは生活、就労、買い物、移動 ・地域とつながるのは施設、事業所から出る事 ・人が施設に来やすいのはお互いが分かるから	セミナー⑦ 知らなかったでは済まない! 介護事業所が知っておくべき労働法規! 株式会社シンクアクト 代表取締役 志賀 弘幸 氏 ・社員が働きやすい労務管理とは? ・変形労働時間制を活用した週4日労働の成果と可能性 ・介護事業所に向いている労基法の活用と就業規則の工夫 ・就業規則の整備と助成金の上手な活用法 ・介護事業所に多い労務トラブルへの対応法
-------	---	--	--

休憩

12:00	セミナー⑧ 生活期リハビリテーション大再編! 供給過多・同時改定に対応する戦略 生き残るデイケア・デイサービスになるために 株式会社メテックプランニング 代表取締役/作業療法士 三好 貴之 氏 ・外来リハ移行の短時間デイケアを確実に成功させる秘訣 ・リハマネ加算Ⅲにて活動と参加のリハビリ提供体制を構築 ・3か月越えの「脱個別リハ」、どのように集団リハへ進めるか ・入院、入所との連携強化による「早期リハ」介入モデル ・アウトカムを出すための目標設定とプログラムの目的化	セミナー⑨ 稼働率 90%以上! 介護職員の関わり方が自立へと繋がる! 利用者が集まるデイのつくり方 株式会社NGU 代表取締役 生活維持向上倶楽部「藤」 管理者 山出 貴宏 氏 ・本来の通所介護事業所の在り方と介護職員の関わり方 ・認知症ケアと介護技術の重要性 ・「自立支援」と「自律支援」をどのように考えるか ・生活動作内での機能訓練の考え方 ・なぜ稼働率に繋がるのか	セミナー⑩ みんながワクワク出来る職場を創り出す「人」になる 現場マネジメントとリーダーシップ 株式会社IDO 代表取締役 特定非営利活動法人Link・マネジメント 代表理事 井戸 和宏 氏 ・ワクワク出来る職場とは? ・専門意識はどのように育むのか? ・自己覚知と価値観共有カンファレンス ・リーダーよりもフォローシップを刺激しよう ・地域って言葉が持つ力
-------	---	--	---

休憩

3日目

10:00	ポストセミナー① 2018年診療・介護報酬 同時改定の行方と事業所戦略 日本通所ケア研究会 会長 妹尾 弘幸 氏 ・介護保険制度・介護報酬・診療報酬同時改定のポイント ・事業所戦略の基本的視点・視野・視座 ・今後成長する介護サービスはこれだ! ・予防事業参入をどう考えるか ・改定まであと3ヶ月!その期間で行うこと	ポストセミナー② 地域密着型デイの生き残り戦略 株式会社風の風 代表取締役 小室 貴之 氏 ・成果を出して評価加算の算定を可能とする小規模通所モデル ・脱預かり型は、預かり+個別機能訓練加算Ⅱの理解と実践へ ・ICTを活用した小規模通所の効率化と職員を目的のケア化へ ・自立支援型ケアリダーの養成方法 ・自立支援型へと導くアウトカムスケールとあるべきPDCA	ポストセミナー③ 介護保険外サービスの傾向と戦略 ～制度改革の動向と自社の方向性の検討材料として～ 株式会社ヘルプス&カンパニー 代表取締役 西村 栄一 氏 ・単価アップが望めない今こそ利用者数絶対主義 ・保険外サービスから見る売上の目標設定の仕方 ・新時代への教育の重要性(死ぬこと、障害、お金、社会活動) ・新しいシニア層、セカンドモラリアム、社会独立系、アイラブミー ・保険外サービスの視点からみる各都府の思惑 ほか
-------	---	---	--

休憩

大阪会場

1日目

10:00	特別講演① 医療・介護改革の動向と施策展開 ～我が事・丸ごとの地域づくりにおけるデイの役割～ 現在調整中 今後20年間の大きな人口変化による保健医療ニーズの増加・多様化が予想される中、制度改革・報酬改定の度に単なる負担増・給付削減による現行制度の維持ではなく、介護事業所が社会システムの資源としてあるべき姿について考える	セミナー① 介護保険外サービスの傾向と戦略 ～導入するかしないか 10のキーワード～ 株式会社ヘルプス&カンパニー 代表取締役 西村 栄一 氏 ・自立支援の別の見方(人工知能、共生型サービス、介護予防) ・高齢者の社会的役割の再確立 ・今ある資源の最大活用と外国人登用 ・値決めは経営 ・法令遵守
-------	---	---



休憩

12:00	特別講演② デイ・デイケアの機能分化・機能強化策 株式会社ジェネラス 代表取締役 小山 樹 氏 ・通所サービスの現状と30年改定 ・今後の通所サービスのあり方 ・特化した通所サービスの運営 ・事務業務のムダをどう減らすか ・次世代に向けてどう変わっていくか? ほか	セミナー② 無名の施設から人が集まる施設になったワケ ～地域資源の組み合わせと巻き込み力で最強の介護施設へ～ コミュニティホーム長者の森 取締役 石原 孝之 氏 ・最強の地域コミュニティビジネスの生み出し方 ・施設の認知度を高めた、地域の拠点になる ・自施設の強みを生かす!地域のシニア世代が活躍する環境づくり ・シャッター外小売店との地域おこし ・潜在顧客を増やす	セミナー③ 知らなかったでは済まない! 介護事業所が知っておくべき労働法規! 株式会社シンクアクト 代表取締役 志賀 弘幸 氏 ・社員が働きやすい労務管理とは? ・変形労働時間制を活用した週4日労働の成果と可能性 ・介護事業所に向いている労基法の活用と就業規則の工夫 ・就業規則の整備と助成金の上手な活用法 ・介護事業所に多い労務トラブルへの対応法
-------	--	--	--

休憩

13:15	特別講演③ 総量規制で今後最大の課題は人材! 職員の確保・定着・育成 総合介護施設ありがとう 総施設長 妹尾 弘幸 氏 ・離職率5%以下(5年以上継続) ・正職率約75%、そのうち90%以上が全国レベルの学会発表経験者 ・昨年度新人職員60名超等の総合施設ありがとうのスタッフマネジメント紹介	セミナー④ 新設される共生型サービス実践のポイント ～地域、自治体を巻き込んだ成功実践事例から探る～ 医療法人緑和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者 山下 総司 氏 ・企業、行政、福祉がお互い!に必要とする事を形にするための3つの仕組みとは ・キーワードは生活、就労、買い物、移動 ・地域とつながるのは施設、事業所から出る事 ・人が施設に来やすいのはお互いが分かるから	セミナー⑤ 今求められる介護サービス運営の秘訣! 訪問看護への参入と黒字運営 株式会社ワッディ 代表取締役 訪問看護ステーションはーと・所長 木戸 恵子 氏 ・地域、患者のニーズに応えられる訪問看護ステーション ・住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らせる街づくり ・事業所の運営状況とニーズに応じた展開 ・運営成功のカギは「人にあり」 ・ホームホスピスや町の保健室など訪問看護の可能性
-------	--	--	---

休憩

2日目

10:00	特別講演④ 診療報酬改定・介護報酬改定が 介護事業所にもたらす影響と対策 めざす医療・介護とはどのような姿なのか? 現在調整中 平成30年度は介護報酬・診療報酬の同時改定のみならず、第7次医療計画・第7期介護保険事業計画・第3期医療費適正化計画が始まる。つまり、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目となる。医療・介護ビジネスにどのような影響を及ぼすのかを考える。	セミナー⑥ 介護事業所と新総合事業・介護予防事業との連携の工夫 株式会社ユニティ 代表取締役 濱田 桂太郎 氏 ・介護事業所は積極的に企業や地域へ出ていく ・地域資源へのランディング ・企業支援ボランティア(弊社、独自のネーミング) ・自主事業「RE4U」の取り組み ・総合事業から地域へのランディング	セミナー⑦ 小規模多機能・看護小規模多機能への参入と黒字運営 天晴れ介護サービス総合教育研究所 代表取締役 榊原 宏昌 氏 ・小規模多機能・看護小規模多機能の正しい理解と運営管理 ・2018年介護報酬改定のゆくりと小規模多機能・看護小規模多機能の将来 ・小規模多機能・看護小規模多機能の収支研究 ・小規模多機能・看護小規模多機能の利用者確保の困難性を打開する営業戦略 ・小規模多機能・看護小規模多機能の成功・失敗10の要因
-------	---	---	---

休憩

12:00	セミナー⑧ 生活期リハビリテーション大再編! 供給過多・同時改定に対応する戦略 生き残るデイケア・デイサービスになるために 株式会社メテックプランニング 代表取締役/作業療法士 三好 貴之 氏 ・外来リハ移行の短時間デイケアを確実に成功させる秘訣 ・リハマネ加算Ⅲにて活動と参加のリハビリ提供体制を構築 ・3か月越えの「脱個別リハ」、どのように集団リハへ進めるか ・入院、入所との連携強化による「早期リハ」介入モデル ・アウトカムを出すための目標設定とプログラムの目的化	セミナー⑨ 稼働率 90%以上! 介護職員の関わり方が自立へと繋がる! 利用者が集まるデイのつくり方 株式会社NGU 代表取締役 生活維持向上倶楽部「藤」 管理者 山出 貴宏 氏 ・本来の通所介護事業所の在り方と介護職員の関わり方 ・認知症ケアと介護技術の重要性 ・「自立支援」と「自律支援」をどのように考えるか ・生活動作内での機能訓練の考え方 ・なぜ稼働率に繋がるのか	セミナー⑩ みんながワクワク出来る職場を創り出す「人」になる 現場マネジメントとリーダーシップ 株式会社IDO 代表取締役 特定非営利活動法人Link・マネジメント 代表理事 井戸 和宏 氏 ・ワクワク出来る職場とは? ・専門意識はどのように育むのか? ・自己覚知と価値観共有カンファレンス ・リーダーよりもフォローシップを刺激しよう ・地域って言葉が持つ力
-------	---	--	---

休憩

3日目

10:00	ポストセミナー① 2018年診療・介護報酬 同時改定の行方と事業所戦略 日本通所ケア研究会 会長 妹尾 弘幸 氏 ・介護保険制度・介護報酬・診療報酬同時改定のポイント ・事業所戦略の基本的視点・視野・視座 ・今後成長する介護サービスはこれだ! ・予防事業参入をどう考えるか ・改定まであと3ヶ月!その期間で行うこと	ポストセミナー② 地域密着型デイの生き残り戦略 株式会社風の風 代表取締役 小室 貴之 氏 ・成果を出して評価加算の算定を可能とする小規模通所モデル ・脱預かり型は、預かり+個別機能訓練加算Ⅱの理解と実践へ ・ICTを活用した小規模通所の効率化と職員を目的のケア化へ ・自立支援型ケアリダーの養成方法 ・自立支援型へと導くアウトカムスケールとあるべきPDCA	ポストセミナー③ 通所リハ・老人保健施設の 勝ち残り戦略と組織運営のコツ 株式会社Work Shift 代表取締役 高木 綾一 氏 ・なぜ、通所リハ、老健の組織改革は難しいのか? ・在宅復帰・在宅支援・生活機能向上・中重度者対応の強化 ・事業の安定成長には着実に国が求める役割達成が必要不可欠 ・報酬改定などの「医療」「介護」に関する正確な情報入手から導かれる適切な経営戦略の立案
-------	---	---	---

休憩

講師陣の紹介 (順不同)

同時改定後の成長戦略の在り方提言し、これからの
介護・医療の在り方を提言してくれる17名の講師陣

東京・大阪会場 小室 貴之 氏 株式会社風の風 代表取締役 リハビリ型デイの先駆モデル「デイサービス高ヶ坂」を平成15年に開設。短期満員を遂げ、以後、直営施設、FC施設、コンサルティング顧問先施設等、新規開設、業務改革、稼働率向上等数多く取り組み、その全てを成功へと導いている。通所関連の専門誌に連載多数。	東京・大阪会場 高木 綾一 氏 株式会社 Work Shift 代表取締役 医療・介護・健康産業に従事する人々が「自分の人生の主人公を演じる」ことが、日本社会のイノベーションに繋がるという信念の基、セラピスト向けの各種セミナーやキャリアカウンセリング、経営コンサルティングなど様々な分野で活躍している。	東京・大阪会場 三好 貴之 氏 株式会社メディックランニング 代表取締役 自ら「活動」と「参加」に力をいれたリハビリ特化型デイを運営する傍ら、リハビリ病院・介護施設におけるリハビリテーション機能強化による経営戦略を専門に全国多数の病院・介護施設のコンサルティングを実践している。	東京・大阪会場 榊原 宏昌 氏 天晴れ介護サービス 総合教育研究所 代表 京都大学経済学部卒業。特養やグループホーム、居宅にて介護職・生活相談員・主任・ケアマネなどを経験し、小規模多機能+有料老人ホームの新規開設に管理者として携わる。その経験を生かしたコンサルおよび講演・研修を全国各地にて行っている。執筆・寄稿多数あり。
東京・大阪会場 西村 栄一 氏 株式会社ヘルプス・アンド・カンパニー 代表取締役 実地指導対策に関わって 10 年以上。自らの指定取消の体験からの「法令遵守」を基幹とした「リーダー育成」「自立支援の記録」「苦情対応」さらに、過去の失敗「混合介護導入」「介護保険外サービス」を主題にコンサルティングを行う。	東京・大阪会場 井戸 和宏 氏 株式会社 IDO 代表取締役 NPO 法人 Link・マネジメント 代表理事 高齢者介護施設等に介護主任・相談員として従事後、グループホームの施設長を歴任。日本認知症ケア学会、認知症ケアジャーナルなどに実践事例研究を多数報告。現在は、施設の現場で起こる諸問題を解決するため介護現場で活躍する傍ら、社会福祉士としても地域の認知症ケアの底上げを行っている。	東京・大阪会場 石原 孝之 氏 コミュニティホーム長寿の森 取締役 【介護部門】【保育部門】【介護保険外事業】すべてが同一建物内にあり、0 歳～100 歳の「ふじのくに型共生施設」を運営。厚労省が選ぶ「在宅老老の取組事例」にも選定されている。	東京・大阪会場 山出 貴宏 氏 株式会社 NGU 代表取締役 生活維持向上倶楽部「昇」 管理者 建築会社勤務時代のバリアフリーに疑問を抱き、特養へ転職。介護職の対応でその方の能力を奪っていることが当たり前になってしまうことに危機感を覚え、独立し株式会社 NGU を設立。ご利用者の自立と自立を支援した「見える活動」で地域をつなぐ取り組みを行っている。
東京・大阪会場 志賀 弘幸 氏 株式会社シンクアクト 志賀社会保険労務士事務所 社会保険労務士 / 社会福祉士 関西大学卒業後、メーカー、大学職員、コンサルティング会社勤務などを経て、独立。社労士、社会福祉士の資格を生かし、福祉・介護業界に特化した人材育成、人事考課制度（キャリアパス制度）、労務管理を顧問先で実施。キャリアパス研修の指導講師として全国各地を飛び回っている。	東京・大阪会場 木戸 恵子 氏 株式会社ウディ 代表取締役 訪問看護ステーション はーと 2008年に「訪問看護ステーションはーと」を設立。地域に根差した訪問看護を展開し、2014年より機能強化型訪問看護ステーションの指定を受ける。また2013年には終末期のケアを支える「ホームホスピス」を設立。事業に賛同する潜在看護婦、地域住民も多く、新しく面白い事業を日々追求している。	東京・大阪会場 山下 総司 氏 医療法人順和ケアクリニック恵庭 介護部門統括責任者 奈良県内の高齢者施設などで、介護職員・生活相談員・管理者として約 8 年間勤務した後、施設環境アドバイザーとして独立。現在は、医療法人の介護部門統括責任者として勤務する傍ら、理事を務める社会福祉法人にて我が事丸ごとの地域づくりに携わっている。	東京会場 国府田 文則 氏 三菱 UFJ リサーチ & コンサルティング株式会社 社会政策部共生社会室主任研究員 慶応義塾大学大学院社会学研究科修士課程へ進学し修了。1994 年に株式会社三和総合研究所に入社し現在に至る。実際に現場で経験した情報と五感を通じて得られる感覚情報を含めて総合的に分析することを重視し、公共政策立案、国民生活、民間事業者、学術研究のそれぞれの現場を繋ぐ橋渡しとして貢献している。
東京会場 長嶺 堅二郎 氏 高齢者サポートネットワーク CSねっと企画合同会社 代表 松下電工（現パナソニック）入社。営業部長から介護事業に転進しパナソニックエイジフリーサービス常務・顧問を経て現職。大阪府地域福祉推進財団・全国有料老人ホーム協会研修講師、大阪市立大学非常勤講師、日本応用老年学会顧問などを務める。	東京会場 松尾 洋 氏 株式会社くまもと健康支援研究所 代表 熊本大学大学院教育学研究科修了後、熊本大学大学院医学教育研究科修士課程を修了。大学院生時代の06年にくまもと健康支援研究所を設立。熊本大発のベンチャー企業として、高齢化が進む地方の自治体と連携し、総合的な健康サービスを提供している。	大阪会場 小山 樹 氏 株式会社ジェネラス 代表取締役 理学療法士として大学病院勤務を経て、1998年に独立・起業。24時間365日安心して生活できるための事業を展開。有益なリハビリテーションシステムの開発を目指し、訪問・通所などの介護保険事業を中心に保険外事業も行っている。	大阪会場 濱田 桂太郎 氏 株式会社ユニティ 代表取締役 鹿児島県作業療法士会 理事 作業療法士の資格を取得後、病院の回復期、通所などで勤務。その後、4年間デイ・訪問で勤務し平成21年に株式会社ユニティを設立。リハビリテーション・看護・ケアの専門家がチームで「住み慣れた自宅・地域」で末永く生活していけるためのサービスを提供している。

お申し込み方法と注意事項

- 各セミナーの当日の内容は変更となる場合がございますことをあらかじめご了承ください。
- 多くの施設の方と交流が図れるよい機会となりますので、名刺をご持参されることをおすすめいたします。
- 参加費の納付をもって正式申し込みとなります。なお、参加費の返金はいたしません。
- お申し込み後1週間たっても入金案内が届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
- 講演中のパソコン・タブレット・スマートフォンなどの録音・メモなどはご遠慮ください。
- 座席数の都合上、参加をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。

日本通所ケア研究大会（東京・大阪地域大会） お申し込み書 FAX 084-948-0641

参加会場を選択してください		参加希望講座を選択してください				
東京	1 日目	10:00~12:00 特別講演①・セミナー①	2 日目	10:00~12:00 特別講演④・セミナー⑥・セミナー⑦	3 日目	10:00~15:00 ・ポストセミナー① ・ポストセミナー② ・ポストセミナー③
	大阪	13:15~15:15 特別講演②・セミナー②・セミナー③		13:15~17:00 セミナー⑧・セミナー⑨・セミナー⑩		
ふりがな		氏 名		TEL		
住所 (自宅勤務先)		連絡先 (自宅勤務先)		FAX		
勤務先				携帯		
				メール (必須)		
				職 種		

※上記個人情報、本研修会の管理・運営またはその他研修のご案内にのみ使用します。 ※いただいた個人情報は当会の「プライバシー・ポリシー」に従い適切に管理いたします。